

●地域福祉推進助成【施策推進公募型事業(10件)】事業一覧

受付ID	団体名	主な活動場所	事業名	事業実施期間	事業の主な実施場所	対象者等	事業概要	助成額
42	NPO法人 FAIR ROAD	タイ王国バンコク・ターク県 大阪市西成区・生野区・大正区・港区・鶴見区	「日常に寄り添い会話から始まる支援」ヤングケアラー孤立予防支援事業	R6. 4. 1～ R7. 3. 31	○大阪府立桃谷高校通信課程 大阪市生野区勝山南3-1-4 ○出張居場所カフェ(生野区、港区、西成区、鶴見区)	・桃谷高校(通信課程)に通う生徒 ・法人が運営している中学校および高校内居場所の利用者(卒業生や中退者を含む)でヤングケアラーの可能性のある若者 ・それぞれの区において実施するシンポジウムの参加者	・ヤングケアラーにとって、全日制高校に通うことは体力的にも精神的にもきつ、進級や卒業に不安がある学生は「通信制高校」への入学や編入を選択することが多い。「通信制高校」にそういった背景があることから、桃谷高校(通信課程)内に「校内居場所」をひらき、介護や家事から解放された自分の時間を過ごせる場所を作り、自分の思いを話すことや様々な資源とつながる経験を重ね、学習支援をしながら卒業までのサポートを行う。 ・「出張居場所カフェ」では団体で運営している校内居場所の利用者を含む中学生以上のヤングケアラーを対象にした相談窓口を設置し、必要に応じて訪問相談(同行支援)も行うことで必要な支援につなげる。また、活動拠点周辺(港区・生野区・西成区・鶴見区)のネットワークを活かした地域生活の練習などを行い、既存の支援サービスの活用する力をつけるとともに、社会的な孤独・孤立生活の予防を目指す。 ・各出張居場所カフェと訪問相談においては「食育」に取り組む。欠食や孤食などの環境から、本来身に付いていなければならない「食べる力」が育まれていない若者と、メニューを考え、買い物に行き、調理し、楽しく食す。食に関心を持ち正しい知識を身に付けることで、生涯にわたって「生きる力」を育むことを目的とする。 ・シンポジウムでは、ヤングケアラー支援に関する実践報告をすることで、区民や支援者へのヤングケアラーの啓発を行う。	4,996,000円
43	特定非営利活動法人 あそーと	大阪市東部、北河内地域	高校内でのサードプレイスの設置によるヤングケアラーの潜在化予防支援	R6. 4. 1～ R7. 3. 31	○大阪府立門真西高校 門真市柳町29-1 ○府立茨田高校 大阪府大阪市鶴見区安田1-5-49 ○府立成城高校定時制の課程 大阪市城東区諏訪3-11-4	家族のケアを担っている高校生	・ヤングケアラーの潜在化を防ぐことを目的として高校内居場所カフェ事業を実施する。居場所カフェ事業とは学校内全校生徒が利用可能なサードプレイスを設置する事業である。具体的には、ヤングケアラーを含む全生徒が利用できるカフェのような生徒がほっと一息つき安心できる居場所を設置する。校内居場所カフェにはボランティアに加えて社会福祉士等の有資格者も配置し、学校との連携や居場所内でのコミュニケーションをもとにアセスメントも行いながら生徒から発せられるSOSの発見にも努める。 ・生徒に関する情報共有や運営に関する質の向上を目的とした各学校との連携会議を年9回開催する。 ・関連地域の社会福祉協議会と連携しボランティア募集するとともに、WEBを利用してボランティアを募集する。併せて年2回のボランティア講座を開催する。	5,000,000円
44	社会福祉法人 八尾隣保館	八尾市	学習支援びはーと	R6. 4. 1～ R7. 3. 31	○ルフレ八尾 サテライトホーム 八尾市青山町4-5-16	八尾市に住む中学1年生から高校3年生 ※状況によっては柔軟に対応可	・週2回のペースでヤングケアラーなどの中学生・高校生を対象に学習支援を通じた居場所の支援を行う。母子支援のノウハウを持った施設職員や学生スタッフが常駐し子どもと歓談できる環境を作る。その中で悩みやしんどさを受容し、子どもの気持ちに寄り添った関わりを実施する。実施後は記録用紙へ簡潔に内容を記入し職員・スタッフと共有、次回の関わり時に活用する。なお、タブレット等を活用し、中々受講できない子どもに対してオンラインで繋がりを確保したり、タブレット機器を活用した学習や様々な遊びを通して居心地の良いより子どもたちのニーズに合わせた環境を構築していく。 ・子ども同士の繋がりが居場所との継続的な繋がりが強化のために、びはーとを卒業した子ども達も集える会の開催(ピアサポート)や居場所の外での体験活動を実施する。 ・各関係機関や学校、行政等においても、ヤングケアラー支援についてのポスター等を作成して事業説明を行い情報共有・連携を密に図りながら一緒に見守りや支援を行っていく。	4,710,000円
45	NPO法人 やんちゃまファミリーwith	松原市及び近隣の市町村	「ほっといたらアカン！子どもが子どもらしく生きる」を支える	R6. 4. 1～ R7. 3. 31	○こみゆにていひろばニコ(NPO法人やんちゃまファミリーwith) 松原市天美南5-20-22 ○松原市内 小学校2校	親や祖父母、兄弟などの介護を行い、学校等に通うことができないヤングケアラー	・ヤングケアラーへの支援に関係している団体や個人等へ呼びかけ、ヤングケアラーの支援について考えるフォーラムを開催し、ヤングケアラーの発見や相談・寄り添いの窓口・松原ヤングケアラー啓発連絡会の一員になり、ヤングケアラーを取り巻く重層的な課題を一緒にサポートする個人・団体を募る。 ・講習会・勉強会では、松原ヤングケアラー啓発連絡会をはじめ、SSW、CSW、教育委員会、子ども未来室などにも参加を要請し、地域の中でヤングケアラーに対する理解を深める。 ・松原市内の小学校2校(三宅小学校・布忍小学校)で居場所を開所し、他校にも広げていくことや、学校以外の地域の居場所や社会資源に繋げていくこと、親の支援として何かできることがないかを検討していく。 ・相談支援窓口は、地域から寄せられるヤングケアラーの相談を身近で受けられる場所として設置。相談体制として、「相談員」「支援員コーディネーター」「支援員」を配置し、必要な支援を行う。 ・小学校の居場所等の事業に必要な人材を新たに確保し、育成するための養成講座を年に1回開催する。	5,000,000円
46	一般社団法人 こもれび	大阪市西区及び周辺区	『夢をあきらめない！』～ヤングケアラーと地域社会をつなぐ架け橋事業～	R6. 4. 1～ R7. 3. 31	○こもれび 大阪市西区南堀江3-11-22 HORIE JNSビル3階・6階	ヤングケアラーの定義に該当する子どもたちの中でも特に、自身の将来や学校への登校について意欲を失っている子ども(小学生～18歳を想定)。ヤングケアラーの早期発見、アウトリーチを行う専門職員。ヤングケアラーに関して相談したい本人や地域住民。ヤングケアラーの見守り・支援にあたる地域住民。	・近隣中学校の校内に居場所を設置し、専門スタッフによる不安や悩みの聴き取りなどを通して、不登校気味の生徒の中からヤングケアラーを早期に発見し、体験活動を含めた総合的な支援に取り組む。 ・音楽教室に加えて、季節に応じた課外活動や地域企業の見学など体験活動(イベント)を実施することで、子どもの意欲向上、自己肯定感の醸成に取り組む。 ・居場所や体験活動の活動成果を子どもたち自身で発表する機会を設け、仲間や他者とのかかわり方、自己表現の仕方を培う。 ・専門職員に対する支援として、定期的に研修や演習をおこない、ヤングケアラーを早期に発見して適切に支援につなげられるようスキルの向上を図る。WebサイトやSNSなどを活用して地域を限定せずに多方面から広く参加者を募り、ヤングケアラーの理解を深めるために、アセスメント力の向上や地域資源や制度の理解などについて講義と演習を通して実践的に行う。 ・ヤングケアラーに関する相談窓口(予約の有無は問わない)を設置する。専門スタッフによる相談を実施し、必要に応じて行政などの機関と連携を図り、支援が継続できるようにする。 ・地域住民に対する啓発活動として、シンポジウムなどの講演会を実施して社会的認知度の向上を図る。専門職や地域の支援者(社会福祉協議会の職員やヤングケアラー支援をしている同業他社の職員など)を招き、地域住民や専門職(ケアマネや基幹相談支援の支援者など)に広く呼びかけて参加者を募る。	4,996,000円

●地域福祉推進助成【施策推進公募型事業(10件)】事業一覧

受付ID	団体名	主な活動場所	事業名	事業実施期間	事業の主な実施場所	対象者等	事業概要	助成額
47	特定非営利活動法人 みらいず2	大阪市住之江区堺市高槻市	ヤングケアラーの子どもたちが「自分」を優先し社会参加できるプロジェクト	R6. 4. 1～R7. 3. 31	○みらいずパーク 大阪市住之江区南加賀屋4-4-19	1地域で子どもの支援、地域支援を行う団体、機関 2家族のケアのため自分のことよりも家庭のことを優先せざるを得ないヤングケアラー状態の子ども。特にヤングケアラーの二次的な障壁として社会参加の意欲や機会が減っている子どもたち 3「チャレンジしていいよ」プロジェクトで将来イメージを広げた子どもたちなど、進路や就職について考えるにあたり、社会参加の機会が減っているため働くイメージが持てない子どもたち	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度からのヤングケアラー支援事業の実践を報告する会を1回実施する。子どもに関わる支援者、教育関係者、ヤングケアラーに関心のある市民を対象に、令和4年度から深めてきた多様な入口をもつ居場所の実践と、利用してからの子どもの変化、これからの課題などを広く周知することで大阪府下の様々な居場所に取り組みを共有しヤングケアラー支援を広げる。 実践報告をより視覚的にわかりやすい内容とするために映像資料を作成し活用する。主な発信内容としては、居場所の取り組み(企画実施や職場体験の様子)や子どもの変化など。体験活動、地域交流の機会の必要性を伝えるとともに、地域住民にとっては協力の仕方がわかる内容とすることで、地域の理解と協力が増えることを目的とする。 家庭では家族を優先せざるを得ないヤングケアラーが、ゆったり自分の好きな事をしたり、料理作りを習い、食卓を囲む等、家庭から離れて自分を優先する時間を過ごせる居場所を実施する。 仲間たちと協力し、やってみたいことを企画、実践する機会を提供し、お互いに学びあう環境の中で多様な価値観に触れることで、自分も相手も大切にしたい活動や、社会参加の機会を提供する。 将来を考えることを諦めている子どもたちが、自分が何をしたいのか、どんな職業があるのかを知るため、多様な職種の専門家5人にインタビューができる機会を提供する。 働くイメージや意欲を高めるため、実際にボランティア活動や仕事体験ができる機会を提供する。集団ボランティア活動から個別の協力企業の仕事体験まで、子どもの状態やニーズに合わせた体験を提供する。 	5,000,000円
48	特定非営利活動法人 ふうせんの会	大阪市及び関西圏、ZOOMによるオンライン対応可能な場合、全国	ヤングケアラーのレジリエンスを高める支援モデル事業	R6. 4. 1～R7. 3. 31	○ふうせんルーム(NPO法人ふうせんの会) 大阪府中央区谷町2-2-20 2階 市民活動スクエアCANVAS谷町 ほか府内各所	現・元ヤングケアラー・若者ケアラー。これまで自身のことをケアラーと感じていなかった支援の必要な潜在的な者。ヤングケアラー・若者ケアラーを支援する専門職。ヤングケアラー・若者ケアラーに接する府民。	<ul style="list-style-type: none"> 現役および元ヤングケアラー・若者ケアラーの孤独・孤立感の解消を目的として、当事者が集まる場「つどい」「ふうせんカフェ(オンラインサロン)」を1か月に1回交互に開催する。 府内在住のヤングケアラー・若者ケアラーおよび支援者や教員からの相談に対応する窓口を設置し、電話やメール、SNSで相談を受けつける。ピアスタッフと社会福祉士等の有資格スタッフが相談に対応し、必要に応じて専門的助言を行う。 当事者がピアサポーターとなり、支援者として自信をもって相談支援に取り組み、全体の相談支援の質を向上させることを目的として、「ピアサポート研修」を実施する。 「ひらかた社協ふくしフェスティバル」に参加し、府民に広くヤングケアラーの存在や現状等を知ってもらう機会とする。 ヤングケアラーに関する社会的認知度を向上させるため誰でも無料で参加できる「ヤングケアラーを知るセッション」を月に1回オンラインで実施する。 	5,000,000円
49	特定非営利活動法人 子ども・若もの支援ネットワークおおさか	大阪府内、主に南河内地域	ひとりじゃない！ヤングケアラーの居場所と相談をもっと身近に～高等学校内に居場所と相談ブースを開設～	R6. 4. 1～R7. 3. 31	○富田林市西板持町8-12-7 (法人本部事務所) ○和泉市葛の葉町3-6-8 (大阪府立信太高等学校) ○富田林市常盤町16-11 (Topic 富田林市きらめき創造館) ○富田林市寺池台1-9-70 (虹いろサロンこんごう)	ヤングケアラー、ヤングケアラーとなる可能性のある子ども、元ヤングケアラー、ヤングケアラーに関わる関係者等	<ul style="list-style-type: none"> ヤングケアラー認知向上に繋がるフォーラムを開催する。ヤングケアラー及び元ヤングケアラーの声を届ける企画を基盤とし、プライベートに配慮した形での登壇(Zoom等のオンラインも含む)またはコメントを出す等を計画している。 ヤングケアラー当事者及び関係者に対する相談支援活動として、面談、メール相談、SNS対応、家庭訪問、見守り等を行い、関係者等と情報交換やケース会議を行う。 信太高校内での居場所活動及び相談支援活動を行うことで、ヤングケアラーに関する課題への早期発見・早期対応を実現する。学生生活の大部分である学校内にて居場所活動を行い、同時に相談ブースを設置する。また関係者等と情報交換やケース会議を行う。 Topic(富田林市きらめき創造館)での居場所活動及び相談支援活動に加え、虹いろサロンこんごうに支援拠点を設置することにより、富田林市内及び南河内地区をカバーできるよう支援を展開する。各拠点では、ヤングケアラーに関する事柄及びヤングケアラーへの予防的な取り組みを居場所支援及び相談支援を通して行う。 	4,949,000円
50	社会福祉法人 大阪福祉会	堺市	『ハピネス』ヤングケアラー支援事業	R6. 4. 1～R7. 3. 31	○ハピネス・パーク 堺市堺区緑ヶ丘南町1-2-10	大阪府内のヤングケアラー。子どもの権利が侵害されている可能性がある子どもとその世帯の構成員。他、大阪府内のDV、虐待、養育不安等の課題を抱える要支援世帯。	<ul style="list-style-type: none"> ヤングケアラー当事者や世帯が気軽に相談でき、世帯が抱える課題を解決できるよう、来所面談、電話、オンラインで相談できる窓口を開設し、すくいあげた要支援者を関係機関へ繋げる。日頃より近隣の学校や園、要保護児童対策地域協議会とカンファレンスを設ける等して連携体制を整えていることを基盤とし、各自自治体の関係機関と連携、協働して支援にあたり、社会資源を活用する。 ヤングケアラー当事者の負担を軽減させるため、学習支援や食事を一緒に調理・喫食し、安心して過ごし、困りごとの相談の場、世帯への支援に繋げるための場として「集いの場」を定期的に提供することで、信頼関係を深める場とする。クリスマス会など季節のイベントや季節ごとのクッキング、食材の買い出し、調理準備から一緒に取り組み、食の重要性を伝えるとともに、生活スキル向上を図る。社会参加のためピクニックや農業体験、遠方へ外出イベントを行い日常から離れた環境で自然に触れ、共通の目的を持つことにより周囲と協力しチームワークを学び、道中の会話など非日常の中、職員との交流を深め、相談しやすい環境を作る。健康面・精神面においてもリフレッシュ効果が期待できる。ヤングケアラー同士の交流や若者ケアラーからのアドバイス等、家族や若者ケアラーなど、地域社会と関り当事者の視野を広げ、他者との繋がりを形成する。 ヤングケアラーの社会的認知度を高めるため、セミナーを開催するとともに、事業案内パンフレットを配布し、地域住民や関係機関に広く周知する。 	5,000,000円
51	社会福祉法人 大念仏寺社会事業団	大阪市平野区	ヤングケアラー支援事業「ウィズ」	R6. 4. 1～R7. 3. 31	○ポ・ドーム大念仏ブルーオーシャン 大阪市平野区平野上町1-2-4 ○ひらのこどもみんな食堂食材センター 大阪市平野区平野上町1-3-3	ヤングケアラー(又はその可能性のある)の母子生活支援施設「ポ・ドーム大念仏」を退所した児童や、地域のひとり親家庭の児童等	<ul style="list-style-type: none"> ヤングケアラーの状況に陥っている子どもを早期に見出し、支援へスムーズに移行するために、日常から子どもたちとかわり、信頼関係を築けるよう、居場所となる学習支援「ウィズ学習会」と、こども食堂「ウィズキッチン」を運営する。 「ひらのこどもみんな食堂食材センター」を継続的に運営し、地域のこども食堂への支援を継続する。「子どもの居場所サポートおおさか」、「平野区社会福祉協議会」、その他企業、個人等から頂いた食材を保管し、こども食堂開催日等に合わせて平野区内、近隣のこども食堂へ配布する。平野区内こども食堂のネットワークづくりを行い、地域に潜在しているヤングケアラーを浮かび上げさせ、こどもたちを見守る地域の仕組みづくりを行う。 平野区役所、学校、児童相談所、社会福祉協議会などの関係機関と情報交換会や連絡会などを行い、地域の各関係機関と連携しながら、ヤングケアラーの個別支援にあたる。 	5,000,000円
計10件								49,651,000円